

「 土砂災害から身を守るために 」

愛知県 犬山市立犬山南小学校 5年 こばやし 小林 ゆうか 優花

今年の天候は、何かおかしい。私は毎日の様にニュースでうつし出されるえい像にショックを受けました。全国のあちらこちらで大雨による土砂災害や水害などが発生していました。私の住む犬山からは遠い場所だったので他人事のように思っていました。

ところが、7月12日。私が学校から帰たくするとバケツをひっくり返した様な雨。そして、すさまじい音の雷が鳴りひびきました。そのしゅん間、家の電気が全て消えて停電になりました。母や祖父がいたものの、私はすごくこわかったです。しばらくすると、うそのように雨は上がりました。これが局地的な大雨なのだろうと思いました。夕方のニュースでは、犬山市で、それも私がふだん目にしている場所で土砂くずれが発生して、床下しん水、道路のかん水などのえい像が流れていました。家の近くでも、こう水で車が通れなかったり、停電で電車が停まってしまったりで、大変な事になってしまいました。私の大好きな国宝犬山城のしゃちほこが雷によりこわれてしまったのもショックでした。この時犬山市全ちいきにひなん勧告が出ていましたが、私は特に何もしませんでした。そんな中、今回は何とかなったものの、もし次に大雨があった時、何に注意すれば良いのか色々と調べてみる事にしました。

まず初めに、どんな時に局地的大雨になるのか。予兆を知っておくのが大事だと思います。真っ黒い雲が近づいてきて、周囲が急に暗くなる。雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。大粒の雨や「ひょう」がふりだすなど、このような現象を感じたら、大雨になる可能性があります。水辺では、作業や遊びをやめ、ただちに川や池からはなれ安全な場所にひなんをする。その時には、周辺の人達への声かけも大切だそうです。

次に、大雨になると日本はけいしゃが急な山が多いので、がけくずれや土石流、地すべりなどの土砂災害が発生しやすくなります。土砂災害は一しゅんにして生命や家屋など大切なものをうばうなど、じん大なひ害をもたらします。

まずは、自分が住んでいる場所がどんな土地であるか知る事が大事です。犬山市でも「防災マップ」などがあります。市町村のホームページで確にんしておく事が必要だと思いました。

そして、土砂災害けいかい情報が発表された場合は、早めに近くのひなん場所など、安全な所へひなんする事が大事です。お年よりやしょう害のある人などひなんに時間がかかる人は移動時間を考えて早めにひなんさせる事が大事だそうです。どうしてもひなんがこんななときは、じょうぶな建物の2階以上にきん急ひなんするか、家の中の安全な場所にひなんします。先日大雨で私の住んでいる犬山でも土砂災害があちらこちらでおこりました。とにかく雨がすごかったので道路もこう水してしまい、あっという間に、川の様になってしまいました。そのためにひなんする事もできずうら山がくずれ家の中でこわい思いをした人達もたく山いたそうです。大雨の中のひなんは特に老人やおさない子どもはこわいとは思いますが、早めの判断が大事なんだと思いました。そのためにも、何らかの前兆に注意し、気象庁や市町村のホームページ、テレビ、ラジオからの情報をいち早くとり入れ、防災気象情報も有効に活用することが重要だと思います。

土砂災害から身を守るためには、一人ひとりが情報などに注意して行動しなくてはいけないと思いました。私も少し意識し、災害にそなえたいと思います。